



2019年冬期スケジュール 国際定期便は冬期初の週1,500便超 中国方面が飛躍的に成長 新規就航都市によりネットワークが更に拡充

関西エアポート株式会社は、国際定期便の2019年冬期スケジュールについて、冬スケジュールとして過去最高の週1,553便を見込んでいます(12月ピーク時点)。冬期スケジュールとして週1,500便を超えるのは開港以来初めてで、2018年冬期スケジュールに比べ週+72便増加します。国際旅客便数は、中国路線の大幅なネットワーク拡充によって、週1,409便で冬期スケジュールとして過去最高、国際貨物便数は週144便で冬期スケジュールとして過去6番目の便数となっています。

国際旅客便については、中国本土路線において、海南航空(HU)が連雲港経由蘭州線を週2便、上海吉祥航空(HO)が常州線を週3便で運航を開始しますが、連雲港と常州が関西と定期便で結ばれるのは開港以来初となります。このほか中国東方航空(MU)と深圳航空(ZH)による南昌線、上海吉祥航空(HO)の温州線も就航路線として新たに加わり、中国本土路線の就航都市数は38都市(2018冬比+5都市)とネットワークが大きく拡大します。また、既存都市においても複数航空会社で増便が予定されており、中国本土路線は週583便(2018冬比+168便)と大幅に増加します。

その他の方面においては、8月29日から12年ぶりに運航を開始したネパール航空(RA)(カトマンズ線 週3便)や7月1日に新規就航したフィリピン・エアアジア(Z2)(マニラ線 週7便)といった夏期スケジュールにおいて新規参入した航空会社が、冬期スケジュールにおいても引き続き運航するほか、2020年3月2日にはスイス インターナショナル エアラインズ(LX)によるチューリッヒ線の就航も予定されており、引き続きネットワークの拡大が見込まれます。

なお、韓国方面では減便が予定されておりますが、一方で、中国本土路線での大幅な新規就航・増便や、マカオ航空(NX)のダブルデイリー化などが予定されているため、近距離アジア路線¹の合計便数としては1,087便(2018冬比:+50便)と大きく増加します。1*:中国・韓国・台湾・香港・マカオ

国内旅客便については、神戸空港においてフジドリームエアラインズ(JH)が新規参入し、松本線を週7便、出雲線を週7便、高知線を週14便運航します。神戸空港において四国地方への就航は開港以来初となります。

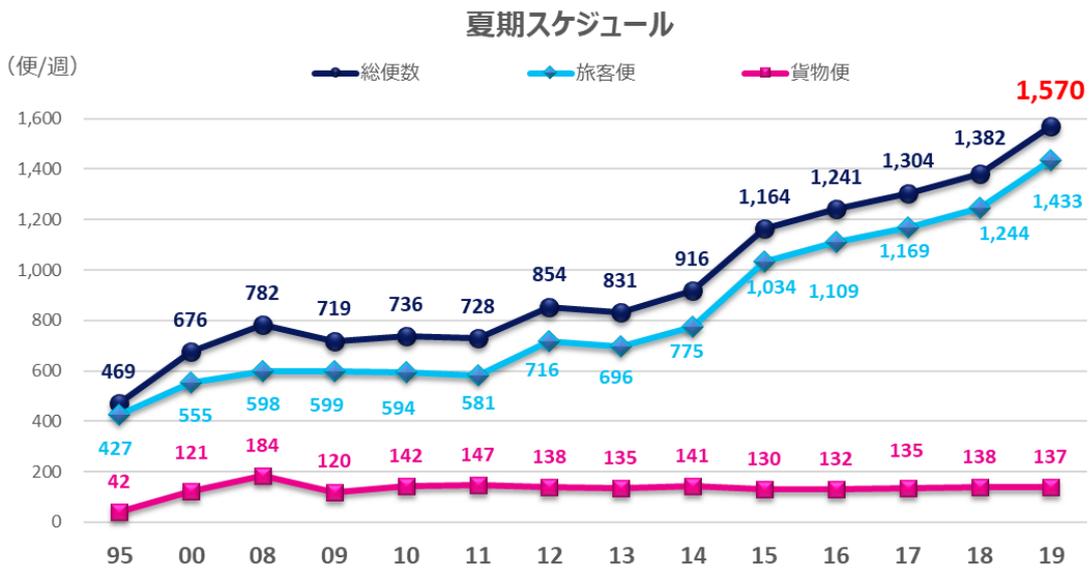
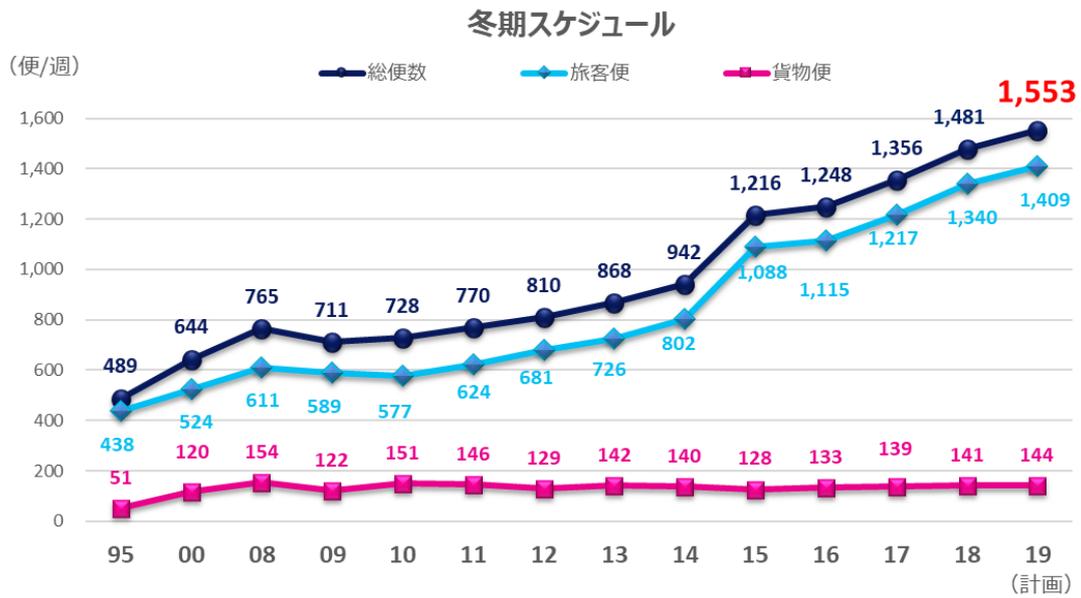
なお、韓国路線の減便に伴い、国際旅客便におけるLCC便数は週462便(2018冬期比:-62便)となりますが、FSC便数が週947便(2018冬期比:+131便)と急拡大したことによって、国際旅客便に占めるLCC便の割合は32.8%となり昨期から減少となります。

関西空港の国内旅客便におけるLCC便数は1日35便(2018年12月比:-9便)で全体の半数以上がLCC便数となっております。

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

関西エアポート株式会社 企画・管理部 コーポレート・コミュニケーションズ
※4月1日より部署名が変更となりました
Tel: 072-455-2201

国際定期便 就航便数の推移



2019年冬期スケジュール 定期便の主な増便等

● 国際旅客便

航空会社	路線	便/週	増便数/週	就航時期	備考
ネパール航空	カトマンズ	0→3	3	8月29日から	関西＝カトマンズ線が直行便として就航しました。
 中国東方航空 CHINA EASTERN	昆明	0→3	3	10月26日から	関西＝昆明線、関西＝南昌線が直行便として新たに就航します。 南昌と関西が定期便で結ばれるのは、2015年夏スケジュール以来4年ぶりとなります。 また、関西＝南京線も1日1便運航に拡充されます。
	南昌	0→2	2	10月27日から	
	南京	5→7	2	10月27日から	
 中国南方航空 CHINA SOUTHERN AIRLINES	上海	7→14	7	10月27日から	関西＝上海線が1日2便運航に、また関西＝鄭州線も拡充されます。
	鄭州	2→3	1	10月27日から	
 深圳航空 Shenzhen Airlines 深セン航空	無錫	14→21	7	10月27日から	関西＝南昌線が新たに直行便として新たに就航します。 南昌と関西が定期便で結ばれるのは、2015年夏スケジュール以来4年ぶりとなります。 また、関西＝無錫線が1日3便運航に、関西＝南通線は1日1便運航に拡充されます。
	南昌	0→7	7	10月27日から	
	南通	4→7	3	10月27日から	
 上海吉祥航空 JUNEAO AIR 吉祥航空	ハルビン	0→7	7	10月27日から	関西＝ハルビン線、関西＝武漢線、関西＝温州線、関西＝常州線が新規就航します。 常州は関西国際空港にとって新規就航地となります。 また、関西＝上海線も拡充されます。
	武漢	0→7	7	10月27日から	
	温州	0→4	4	10月27日から	
	常州	0→3	3	10月27日から	
	上海	21→28	7	11月17日から	
 廈門航空 XIAMEN AIR	青島	0→7	7	11月20日から	関西＝青島線が直行便として1日1便就航します。また、関西＝廈門線も1日1便運航に拡充されます。
	廈門	4→7	3	11月20日から	
 天津航空 Tianjin Air	天津	14→21	7	10月27日から	関西＝天津線が1日3便運航に拡充されます。
 海南航空 HAINAN AIRLINES	北京	0→5	5	10月27日から	関西＝北京線が直行便として就航します。
	連雲港＝蘭州	0→2	2	11月25日から	関西＝連雲港＝蘭州線が就航します。 連雲港から、日本へ初めての定期便となります。
 奥凱航空 OKAIR	天津	4→9	5	10月27日から	関西＝天津線が拡充されるとともに、関西＝杭州線が直行便として就航します。
	杭州	0→2	2	11月25日から	
 澳門航空 AIR MACAU マカオ航空	マカオ	7→14	7	12月18日から	関西＝マカオ線が拡充されます。
 スイス インターナショナル エアラインズ SWISS	チューリッヒ	0→5	5	2020年3月2日から	関西＝チューリッヒ線が直行便として就航します。チューリッヒ線は2001年夏スケジュール以来、18年ぶりの運航となります。
 春秋航空 SPRING AIRLINES 春秋航空	西安	1→7	6	10月27日から	関西＝西安線が1日1便運航に拡充されます。
	 ジェットスター・アジア航空 Jetstar	マニラ＝シンガポール	4→5 5→7	1 2	10月27日から 12月17日から

● 国内旅客便

航空会社	路線	便/週	増便数/週	就航時期	備考
 フジドリームエアラインズ FDA	松本	0→7	7	10月27日から	神戸＝松本線が1日1便就航します。
	出雲	0→7	7	10月27日から	神戸＝出雲線が1日1便就航します。 10月27日から12月19日の期間のみ、1日2便運航に拡充されます。
	高知	0→14	14	12月20日から	神戸＝高知線が1日2便就航します。神戸からの四国路線の就航は開港以来初となります。
 スカイマーク SKY	鹿児島	14→21	7	10月27日から	神戸＝鹿児島線が1日3便運航に拡充されます。

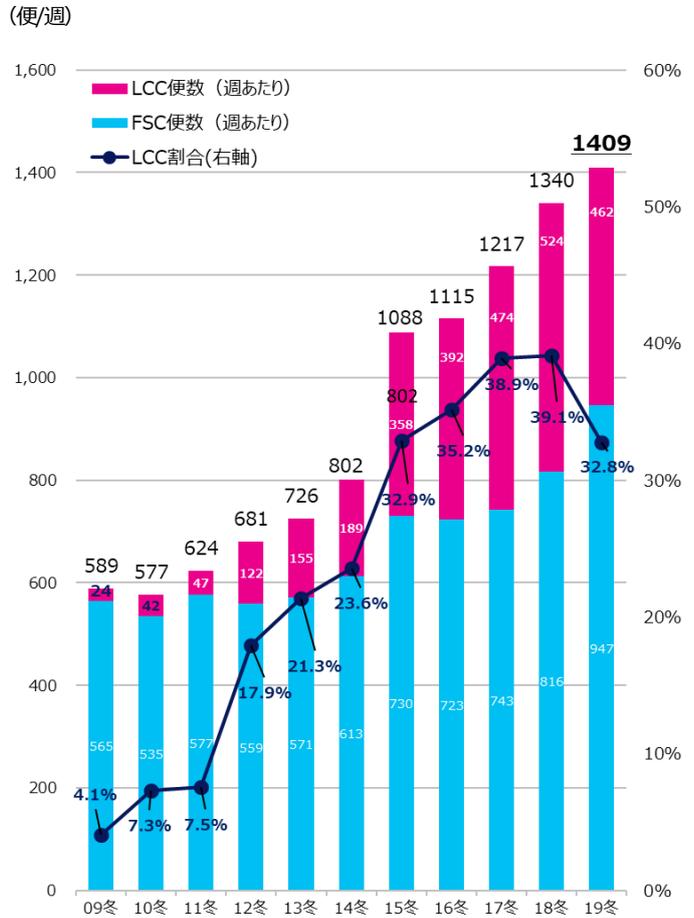
* 関西エアポート(株)調べのため、政府認可申請中の便や、申請前の計画便も含まれる。

国際定期旅客便における LCC の概況及び方面別便数

◇国際線 LCC 内訳：21 社 29 都市

航空会社	路線	便数/週
ピーチ・アビエーション (計95便)	ソウル (仁川)	28
	香港	18
	台北	28
	高雄	7
	釜山	7
上海	7	
ジェットスター・ジャパン (計6便)	香港	3
	マニラ	3
チェジュ航空 (計48便)	釜山	7
	ソウル (仁川)	14
	ソウル (金浦)	14
	グアム	6
清州	7	
エアブサン	釜山	7
イースター航空	ソウル (仁川)	14
ジンエア	ソウル (仁川)	14
デーウエイ (計42便)	ソウル (仁川)	14
	大邱	7
	グアム	7
	清州	7
	釜山	7
エアソウル	ソウル (仁川)	14
春秋航空 (計62便)	上海	14
	武漢	2
	天津	4
	重慶	4
	西安	3
	揚州	7
	洛陽 (揚州経由)	1
	合肥	7
	大連	7
	広州	7
鄭州	7	
香港カウズ航空	香港	32
タイガーエア台湾 (計16便)	台北	14
	高雄	2
セブ・パシフィック航空	マニラ	7
フィリピン・エアアジア	マニラ	7
バドジェットエア (計14便)	バンコク	7
	ホーチミン	7
タイ・エアアジアX	バンコク (ドンムアン)	14
ブックスクート	バンコク (ドンムアン)	7
タイ・ライオン・エア	バンコク (ドンムアン)	5
エアアジアX (計18便)	クアラルンプール	7
	クアラルンプール (台北経由)	4
ホノルル	7	
ジェットスターアジア (計23便)	シンガポール (台北経由)	12
	シンガポール (マニラ経由)	7
	シンガポール (クラーク経由)	4
スクート (計10便)	シンガポール (高雄経由)	7
	シンガポール	3
ジェットスター航空	ケアンズ	7
計		462

◇国際線定期旅客便数の推移



2019 年冬スケジュールでは、韓国路線の LCC 便数減少に加え、FSC 便数が急拡大したことで、国際旅客便に占める LCC の割合は昨期から減少

◇方面別便数内訳 (国際定期旅客便)

	16冬 (都市数)		17夏 (都市数)		17冬 (都市数)		18夏 (都市数)		18冬 (都市数)		19夏 (都市数)		19冬 計画 (都市数)		構成比
韓国	281	(4)	327	(4)	355	(4)	360	(6)	346	(6)	348	(6)	238	(5)	17%
中国	330	(35)	326	(32)	336	(32)	346	(32)	415	(33)	494	(34)	583	(38)	41%
香港・マカオ	114	(2)	133	(2)	131	(2)	133	(2)	141	(2)	124	(2)	132	(2)	9%
台湾	148	(3)	134	(3)	138	(3)	128	(3)	135	(3)	135	(3)	134	(3)	10%
東南アジア	139	(9)	137	(10)	153	(10)	149	(10)	180	(11)	197	(11)	199	(11)	14%
北米	33	(3)	46	(4)	41	(3)	56	(4)	53	(3)	54	(5)	42	(3)	3%
*うちハワイ	*21	*(1)	*25	*(1)	*29	*(1)	*36	*(1)	*39	*(1)	*28	*(1)	28	(1)	
欧州	23	(5)	26	(4)	21	(4)	28	(4)	26	(4)	35	(5)	30	(5)	2%
オセアニア・グアム	37	(4)	28	(3)	32	(5)	33	(4)	34	(5)	32	(4)	40	(5)	3%
その他	10	(3)	12	(4)	10	(3)	11	(4)	10	(3)	14	(5)	11	(3)	1%
合計	1,115	(68)	1,169	(66)	1,217	(66)	1,244	(69)	1,340	(70)	1,433	(75)	1,409	(75)	100%
本邦社	5 社		5 社		5 社		5 社		5 社		3 社		4 社		
外航社	51 社		53 社		53 社		54 社		56 社		60 社		59 社		
運航会社	56 社		58 社		58 社		59 社		61 社		63 社		63 社		

* * その他方面には、中東、インド、ネパール、極東アジアを含む。

国際定期便 航空会社別就航便数

国・地域名	航空会社	2018年冬期 10/28 ~ 3/30 2019年3月 (ピーク)			2019年夏期 3/31 ~ 10/26 2019年8月 (ピーク)			2019年冬期 10/27 ~ 3/28 2019年12月 (ピーク)			
		実績			実績			計画			
		旅客便	貨物便	合計	旅客便	貨物便	合計	旅客便	貨物便	合計	
日本	JL 日本航空	56		56	42		42	42		42	
	NH 全日本空輸	49	8	57	49	10	59	49	8	57	
	MM ビーチ・アビエーション	81		81	94		94	95		95	
	GK ジェットスター・ジャパン	6		6				6		6	
	JW パニテ・エア	7		7							
アメリカ	UA ユナイテッド航空	14		14	14		14	17		17	
	DL デルタ航空	7		7	14		14	7		7	
	HA ハワイアン航空	7		7	7		7	7		7	
	FX フェデラル エクスプレス		57	57		58	58		59	59	
	SX ユナイテッド パーセル サービス		16	16		14	14		16	16	
カナダ	AC エア・カナダ				5		5				
	BA プリテック・エアウェイズ				4		4	3		3	
ドイツ	LH ルフトハンザ ドイツ航空	7		7	7		7	7		7	
	GEC ルフトハンザ・カーゴ		3	3		2	2		2	2	
オランダ	KL KLMオランダ航空	7		7	7		7	7		7	
フランス	AF エールフランス航空	5		5	7		7	6		6	
	SB エア カレドニア インターナショナル	1		1	2		2	2		2	
イタリア	C8 カーゴルクス イタリア		3	3		3	3				
	AY フィンランド航空	7		7	10		10	7		7	
フィンランド	LX スイス インターナショナル エアラインズ							(5)		(5)	
アラブ首長国連邦	EK エミレーツ航空	7		7	7		7	7		7	
アゼルバイジャン	7L シルクウェイ・ウエスト・エアラインズ		3	3		2	2		2	2	
ロシア	S7 S7航空				2		2	1		1	
韓国	KE 大韓航空	53	3	56	53	3	56	42	3	45	
	OZ アシアナ航空	42	2	44	42	1	43	35	2	37	
	7C チェジュ航空	66		66	73		73	48		48	
	BX エアサン	35		35	35		35	7		7	
	ZE イースター航空	31		31	22		22	14		14	
	LJ ジンエア	35		35	39		39	14		14	
	TW ティーウェイ航空	49		49	49		49	42		42	
	RS エアソウル	14		14	14		14	14		14	
	中国	CA 中国国際航空	57		57	59		59	63		63
		CAO 中国国際貨運航空		6	6		6	6		9	9
		MU 中国東方航空	63		63	71		71	81		81
		CK 中国貨運航空		5	5		5	5		5	5
		CZ 中国南方航空	48		48	53		53	61		61
		MF 厦門航空	17		17	17		17	28		28
FM 上海航空		7		7	7		7	7		7	
Y8 金鵬航空			5	5		5	5		5	5	
CF 中国貨運郵政航空			5	5		5	5		10	10	
ZH 深圳航空		32		32	32		32	49		49	
SC 山東航空		21		21	28		28	28		28	
9C 春秋航空		41		41	57		57	62		62	
HO 上海吉祥航空		35		35	64		64	77		77	
GS 天津航空		14		14	14		14	21		21	
香港	JD 北京首都航空	2		2	2		2	2		2	
	BK 奥凱航空	2		2	4		4	11		11	
	3U 四川航空	7		7	14		14	14		14	
	HU 海南航空	6		6	9		9	16		16	
	UX キャセバシフィック航空	42	4	46	42	3	45	35	4	39	
	UO 香港エクスプレス	40		40	30		30	32		32	
	HX 香港航空	21		21	21		21	23		23	
	LD エアホンコン		6	6		6	6		6	6	
	マカオ	NX マカオ航空	7		7	7		7	14		14
		BR エバー航空	35	2	37	35	2	37	35	2	37
	台湾	CI チャイナ エアライン	41	13	54	41	12	53	41	11	52
		IT タイガーエア台湾	17		17	17		17	16		16
		PR フィリピン航空	21		21	21		21	21		21
	フィリピン	SJ セブ パシフィック航空	7		7	7		7	7		7
Z2 フィリピン・エアアジア					7		7	7		7	
VN ベトナム航空		21		21	21		21	21		21	
ベトナム	BL ジェットスター・パシフィック航空	4		4							
	VJ ベトジェットエア	14		14	14		14	14		14	
	TG タイ国際航空	14		14	14		14	14		14	
	XJ タイ・エアアジアX	14		14	14		14	14		14	
	XW ノックアウト	6		6	7		7	7		7	
マレーシア	SL タイ・ライオン・エア				5		5	5		5	
	MH マレーシア航空	7		7	7		7	7		7	
シンガポール	D7 エアアジアX	18		18	18		18	18		18	
	SQ シンガポール航空	14		14	21		21	21		21	
インドネシア	3K ジェットスター・アジア航空	19		19	18		18	23		23	
	TR スカート	15		15	14		14	10		10	
	GA ガルーダ・インドネシア航空	10		10	9		9	7		7	
インド	AI エアインディア	3		3	3		3				
モンゴル	OM MIATモンゴル航空				2		2				
ネパール	RA ネパール航空							3		3	
オーストラリア	QF カンタス航空	4		4	3		3	5		5	
	JQ ジェットスター航空	5		5	6		6	7		7	
ニュージーランド	NZ ニュージーランド航空	3		3				3		3	
合計	週間就航便数	1,340	141	1,481	1,433	137	1,570	1,409	144	1,553	
	1日あたり就航便数	191.4/日	20.1/日	211.6/日	204.7/日	19.6/日	224.3/日	201.3/日	20.6/日	221.9/日	
	運航会社数	61社	16社	71社	63社	16社	73社	63社	15社	72社	
	就航国(地域)数	19ヶ国	21ヶ国	23ヶ国	22ヶ国	22ヶ国	26ヶ国	21ヶ国	20ヶ国	24ヶ国	
	就航都市数	70都市	44都市	85都市	75都市	44都市	91都市	75都市	45都市	92都市	

* 関西エアポート(株)調べのため、政府認可申請中の便や、申請前の計画便も含まれる。
 * 本資料中、共同運航便(コードシェア便)は運航会社で整理。
 * 上記表では、往復1便未満の便数はカウントしていない。
 * スイス インターナショナル エアラインズは2020年3月2日より運航開始

前年同期比較（18年冬期/19年冬期）及び前期比較（19年夏期/19年冬期）

方面	航空会社名	18年冬期（実績）→19年冬期（計画）		19年夏期（実績）→19年冬期（計画）	
		主な増減便内訳（ピーク時点）		主な増減便内訳（ピーク時点）	
韓国			-108		-110
	大韓航空	釜山	-7	釜山	-14
	大韓航空	済州	-4	済州	-4
	大韓航空			ソウル（仁川）	+7
	アジア航空	ソウル（仁川）	-7	ソウル（仁川）	-7
	チェジュ航空	ソウル（仁川）	-7	ソウル（仁川）	-9
	チェジュ航空	釜山	-3	釜山	-7
	チェジュ航空	務安	-7	務安	-8
	エアブサン	釜山	-14	釜山	-14
	エアブサン	大邱	-14	大邱	-14
	イースター航空	ソウル（仁川）	-7		
	イースター航空	釜山	-7	釜山	-4
	イースター航空	清州	-3	清州	-4
	ジンエア	ソウル（仁川）	-7	ソウル（仁川）	-14
	ジンエア	釜山	-14	釜山	-11
	ティーウェイ航空	大邱	-7		
	ティーウェイ航空			ソウル（仁川）	-7
中国			+168		+89
	中国国際航空	天津	+3	天津	+2
	中国国際航空	杭州	+3	杭州	+2
	中国東方航空	昆明	+3	昆明	+3
	中国東方航空	南京	+2	南京	+2
	中国東方航空	煙台/太原	+3		
	中国東方航空	寧波	+3	寧波	-2
	中国東方航空	杭州	+5	杭州	+5
	中国東方航空	南昌	+2	南昌	+2
	中国南方航空	広州/三亜	-7		
	中国南方航空	広州	+14		
	中国南方航空	大連	+1		
	中国南方航空	瀋陽	+2		
	中国南方航空	深圳	+2		
	中国南方航空	鄭州	+1	鄭州	+1
	中国南方航空	上海	+7	上海	+7
	中国南方航空	三亜	-7		
	海南航空			北京	+5
	海南航空	連雲港/蘭州	+2	連雲港/蘭州	+2
	海南航空	西安	+3		
	海南航空	北京	+5		
	厦門航空	厦門	+3	厦門	+3
	厦門航空	福州	+1	福州	+1
	厦門航空	青島	+7	青島	+7
	深圳航空	無錫	+7	無錫	+7
	深圳航空	南通	+3	南通	+3
	深圳航空	南昌	+7	南昌	+7
	山東航空	青島	+7		
	春秋航空			武漢	-2
	春秋航空	西安	+6	西安	+6
	春秋航空	揚州	+1	揚州	+1
	春秋航空	合肥	+7		
	春秋航空	鄭州	+7		
	上海吉祥航空	上海/銀川	-7	上海/銀川	-7
	上海吉祥航空	上海	+14	上海	+7
	上海吉祥航空	南京	+7	南京	-1
	上海吉祥航空			青島	-7
	上海吉祥航空	長沙	+7		
	上海吉祥航空	ハルビン	+7	ハルビン	+7
	上海吉祥航空	常州	+3	常州	+3
	上海吉祥航空	温州	+4	温州	+4
	上海吉祥航空	武漢	+7	武漢	+7
	天津航空	天津	+7	天津	+7
	奥凱航空	杭州	+2	杭州	+2
	奥凱航空	天津	+7	天津	+5
	四川航空	成都	+4		
	四川航空	西安	+3		
香港・マカオ			-9		+8
	ピーチ・アビエーション			香港	+1
	ジェットスター・ジャパン	香港	-3	香港	+3
	キャセイパシフィック航空	香港	-7	香港	-7
	香港エクスプレス	香港	-8	香港	+2
	香港航空	香港	+2	香港	+2
	マカオ航空	マカオ	+7	マカオ	+7
台湾			-1		-1
	日本航空	台北	-7		
	ピーチ・アビエーション	台北	+14		
	バニラ・エア	台北	-7		
	タイガーエア台湾	高雄	-1	高雄	-1

方面	航空会社名	18年冬期(実績)→19年冬期(計画)		19年夏期(実績)→19年冬期(計画)	
		主な増減便内訳(ピーク時点)		主な増減便内訳(ピーク時点)	
東南アジア			+19		+2
	ジェットスター・ジャパン			マニラ	+3
	ジェットスター・パシフィック航空	ハノイ	-4		
	フィリピン・エアアジア	マニラ	+7		
	ノックアウト	バンコク(ドンムアン)	+1		
	タイ・ライオン・エア	バンコク(ドンムアン)	+5		
	シンガポール航空	シンガポール	+7		
	ジェットスター・アジア航空	マニラ/シンガポール	+2	マニラ/シンガポール	+3
	ジェットスター・アジア航空	クラーク/シンガポール	+1	クラーク/シンガポール	+1
	ジェットスター・アジア航空	台北/シンガポール	+1	台北/シンガポール	+1
	スクート	高雄/シンガポール	+3		
	スクート			バンコク(ドンムアン)	-3
	スクート	シンガポール	-1	シンガポール	-1
	ガルーダ・インドネシア航空	デンパサール	-2	デンパサール	-2
	ガルーダ・インドネシア航空	ジャカルタ	-1		
北米(ハワイ含む)			-11		-12
	日本航空	ホノルル	-7		
	デルタ航空	シアトル		シアトル	-7
	エア・カナダ			バンクーバー	-5
	スクート	ホノルル	-4		
欧州			+4		-5
	ブリティッシュ・エアウエイズ	ロンドン(ヒースロー)	+3	ロンドン(ヒースロー)	-1
	ルフトハンザドイツ航空	ミュンヘン	+7		
	ルフトハンザドイツ航空	フランクフルト	-7		
	エールフランス航空	パリ	+1	パリ	-1
	フィンランド航空			ヘルシンキ	-3
オセアニア・グアム			+6		+8
	チェジュ航空	グアム	-1	グアム	-1
	カンタス航空	シドニー	+1	シドニー	+2
	ジェットスター航空	ケアンズ	+2	ケアンズ	+1
	ニュージーランド航空			オークランド	+3
	ユナイテッド航空	グアム	+3	グアム	+3
	エア・カレドニア インターナショナル	ヌーメア	+1		
その他			+1		-3
	S7航空	ウラジオストク	+1	ウラジオストク	-1
	エアインディア	香港/デリー/ムンバイ	-3	香港/デリー/ムンバイ	-3
	ネパール航空	カトマンズ	+3	カトマンズ	+3
	MIATモンゴル航空			ウランバートル	-2
貨物便			+3		+7
	全日本空輸			貨物便	-2
	フェデラル エクスプレス	貨物便	+2	貨物便	+1
	ユナイテッド パーセル サービス			貨物便	+2
	ルフトハンザ・カーゴ	貨物便	-1		
	カーゴルクス イタリア	貨物便	-3	貨物便	-3
	シルクウェイ・ウエスト・エアラインズ	貨物便	-1		
	アジアナ航空			貨物便	+1
	中国国際貨運航空	貨物便	+3	貨物便	+3
	中国郵政航空	貨物便	+5	貨物便	+5
	キャセイパシフィック航空			貨物便	+1
	チャイナ エアライン	貨物便	-2	貨物便	-1
	計		1,481→1,553【+72便】		1,570→1,553【-17便】

国内定期旅客便 就航便数

地域	都市	ITAMI								KIX								KOBE									
		2018年 冬期 (実績)	2019年 夏期 (実績)	2019冬期(計画)					2018年 冬期 (実績)	2019年 夏期 (実績)	2019冬期(計画)					2018年 冬期 (実績)	2019年 夏期 (実績)	2019冬期(計画)									
				計	JAL	JAC	ANA	IBEX			AMX	計	JAL	JTA	ANA			SFJ	peach	Jetstar	計	ANA	SKY	AIRDO	FDA		
北海道	札幌(新千歳)	10	10	10	4		6			15	13	13	3		4		3	3	6	6	6	1	3		2		
	釧路								1	1	1						1										
	函館	2	2	2	1		1																				
東北 信越	青森	6	6	6	3		3																				
	三沢	1	1	1	1																						
	秋田	6	6	6	3		3																				
	花巻	4	4	4	4																						
	山形	3	3	3	3																						
	仙台	15	15	15	8		5	2		3	3	3					3		2	2	2		2				
	福島	4	4	4			2	2																			
	新潟	10	10	10	4		3	3		1	1	1					1										
	松本																				1						1
関東	成田	4	4	4	2		2		7	6	6					2	4										
	羽田	30	30	30	15		15		13	13	13	3		5	5			9	9	9	2	7					
	茨城																	2	3	3		3					
近畿 中国 四国	但馬	2	2	2		2																					
	隠岐	1	1	1	1																						
	出雲	4	4	4	4															1						1	
	松山	12	12	12	3		9		1	1	1					1											
九州	高知	6	6	6		6			1	1	1					1				2						2	
	福岡	10	10	10	4		5	1		5	5	4		1		2	1										
	長崎	7	7	7	4		3			2	1	1				1		3	4	3		3					
	熊本	10	10	10	3		6		1	1	1	1					1										
	大分	7	7	7	3		3	1																			
	宮崎	11	11	11	5		6			2	2	1				1											
	鹿児島	13	13	13	7		6			3	3	2				2		2	2	3		3					
	屋久島	1	1	1		1																					
沖縄	奄美大島	1	1	1	1				1	1	1				1												
	那覇	5	5	5	2		3		13	14	12		3	4		3	2	5	7	6		3	3				
	石垣								3	3	4		1	1		2											
	宮古							1	1	1			1														
1日あたり 便数	(実績)	185	185	-	-	-	-	-	73	70	-	-	-	-	-	-	-	29	33	-	-	-	-	-	-	-	
	(計画)	185	185	185	85	3	87	9	1	70	70	66	6	4	16	5	23	12	29	33	36	3	24	3	2	4	
就航都市数		26	26	26	22	2	18	5	1	17	17	17	2	2	6	1	13	6	7	7	10	2	7	1	1	3	

※臨時便・チャーター便を除く。
 ※各期のピーク時点便数を記載。(19Wのピークは12月と1月、判明分のみ記載)
 ■大阪国際空港 就航会社・・・日本航空(JAL)、日本エアコミューター(JAC)、全日本空輸(ANA)、アイベックスエアラインズ(IBEX)、天草エアライン(AMX)
 ■関西国際空港 就航会社・・・日本航空(JAL)、日本トランスオーシャン航空(JTA)、全日本空輸(ANA)、スターフライヤー(SFJ)、ピーチ・アビエーション(APJ)、ジェットスター・ジャパン(JJP)。
 ※奄美大島線は、2019年5月6日までバニラエア(VNL)により運航。2019年12月26日からはピーチ・アビエーション(APJ)により運航。
 ※全日本空輸(ANA)の女満別線は2019年7月13日～9月30日の期間のみ運航。
 ※ジェットスター・ジャパン(JJP)下地島線は2019年7月3日から2019年11月30日まで運航。
 ■神戸空港 就航会社・・・全日本空輸(ANA)、スカイマーク(SKY)、AIRDO(AO)、ソラシドエア(SNJ)、フジドリームエアラインズ(FDA)

国内定期貨物便 就航便数

- 関西～那覇 週5便(片道) 運航会社：ANA
- 那覇～関西 週5便(片道) 運航会社：ANA

関西エアポート株式会社は、オリックス株式会社と VINCI Airports（ヴァンシ・エアポート）を中核とするコンソーシアムにより設立されました。関西国際空港（KIX）および大阪国際空港（ITAMI）の運営を新関西国際空港株式会社から引継ぎ、2016年4月1日より両空港の運営会社として事業を開始しています。

また、2018年4月1日からは関西エアポート株式会社の100%出資会社である関西エアポート神戸株式会社が、神戸空港（KOBE）の運営を神戸市から引継ぎ、事業を開始しました。

“One 関西エアポートグループ”として、空港の安全とセキュリティを最優先に、適切な投資と効率的な運営によって国内外からの空港利用者へのサービスを強化してまいります。また、関西3空港の可能性を最大限に引き出し、地域コミュニティへの貢献につなげてまいります。

詳しくは、関西エアポートグループホームページ: www.kansai-airports.co.jp/ をご参照ください。

関西エアポート株式会社（関西国際空港および大阪国際空港の運営）

本社	大阪府泉佐野市泉州空港北1番地 大阪市西区西本町一丁目4番1号（登記上）	株主	オリックス 40%、 ヴァンシ・エアポート 40%、 その他の出資者 20% ¹
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO ブノア・リュロ		
事業内容	関西国際空港および大阪国際空港の運営業務、管理受託業務等		

関西エアポート神戸株式会社（神戸空港の運営）

本社	兵庫県神戸市中央区神戸空港1番	株主	関西エアポート株式会社 100%
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO ブノア・リュロ		
事業内容	神戸空港の運営、維持管理業務等		



オリックス株式会社について

オリックスは常に新しいビジネスを追求し、先進的な商品・サービスを提供する金融サービスグループです。

1964年にリース事業からスタートして隣接分野に進出し、現在では融資、投資、生命保険、銀行、資産運用、自動車関連、不動産、環境エネルギー関連などへ事業を広げています。また、1971年の香港進出を皮切りに世界37カ国・地域に拠点を設け、グローバルに展開しています。



世界有数の空港運営事業者であるヴァンシ・エアポートは、46空港の開発・運営を行っています。同社の空港ネットワークを構成するフランス、ポルトガル、イギリス、スウェーデン、セルビア、カンボジア、日本、アメリカ合衆国、ドミニカ共和国、コスタリカ、チリ、そしてブラジルの空港には、合計で約250社の航空会社が就航し、2018年の旅客者数は2億4,000万人にのびます。

ヴァンシ・エアポートは総合インテグレーターとしての専門知識を駆使し、空港の開発・資金調達・建設・運営に当たっています。またその投資力、国際ネットワーク、ノウハウを生かして、空港の運営と機能を最適化し、施設拡充や新規建設事業を行っています。

2018年の連結売上高は16億ユーロ、グループ全体の売上高は36億ユーロ（関連会社含む）に達しました。

詳細は www.vinci-airports.com をご覧ください。

¹ 株式会社アシックス、岩谷産業株式会社、大阪瓦斯株式会社、株式会社大林組、オムロン株式会社、関西電力株式会社、近鉄グループホールディングス株式会社、京阪ホールディングス株式会社、サントリーホールディングス株式会社、株式会社JTB、積水ハウス株式会社、ダイキン工業株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社竹中工務店、南海電気鉄道株式会社、西日本電信電話株式会社、パナソニック株式会社、阪急阪神ホールディングス株式会社、レンゴー株式会社、株式会社池田泉州銀行、株式会社紀陽銀行、株式会社京都銀行、株式会社滋賀銀行、株式会社南都銀行、日本生命保険相互会社、株式会社みずほ銀行、三井住友信託銀行株式会社、株式会社三菱UFJ銀行、株式会社りそな銀行、株式会社民間資金等活用事業推進機構

2019年度上期 利用状況（4月-9月）及び 2019年 冬期スケジュールについて

2019.10.24



Shaping a New Journey



目次

 **2019年度上期 利用状況 (4月-9月)**

 **2019年冬期スケジュールについて**

 **質疑応答**

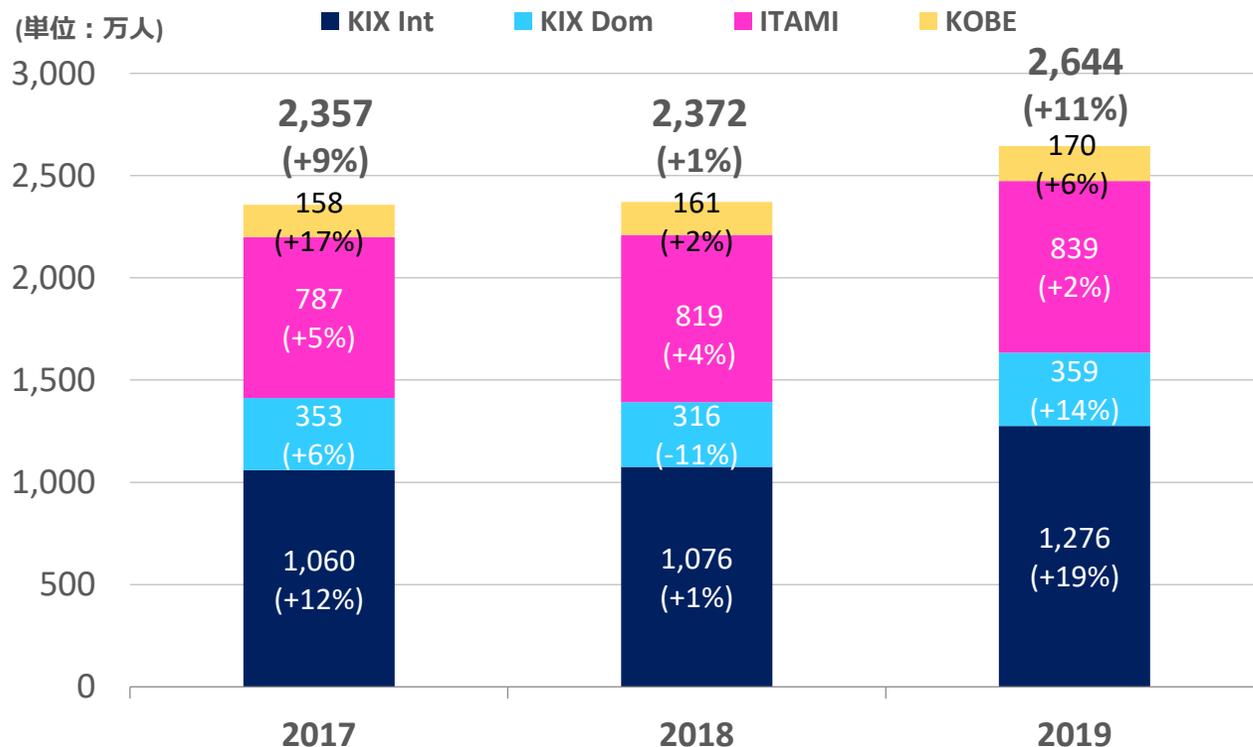


2019年度上期 利用状況（4月-9月）

3空港 旅客数利用実績 (4-9月)

2019年度上期 3空港合計の総旅客数は2,644万人 (前年同期比+11%)

2019年度上期累計 旅客数実績



※()内は前年同期比、またITAMIの2017年度旅客数は幼児旅客数を除く

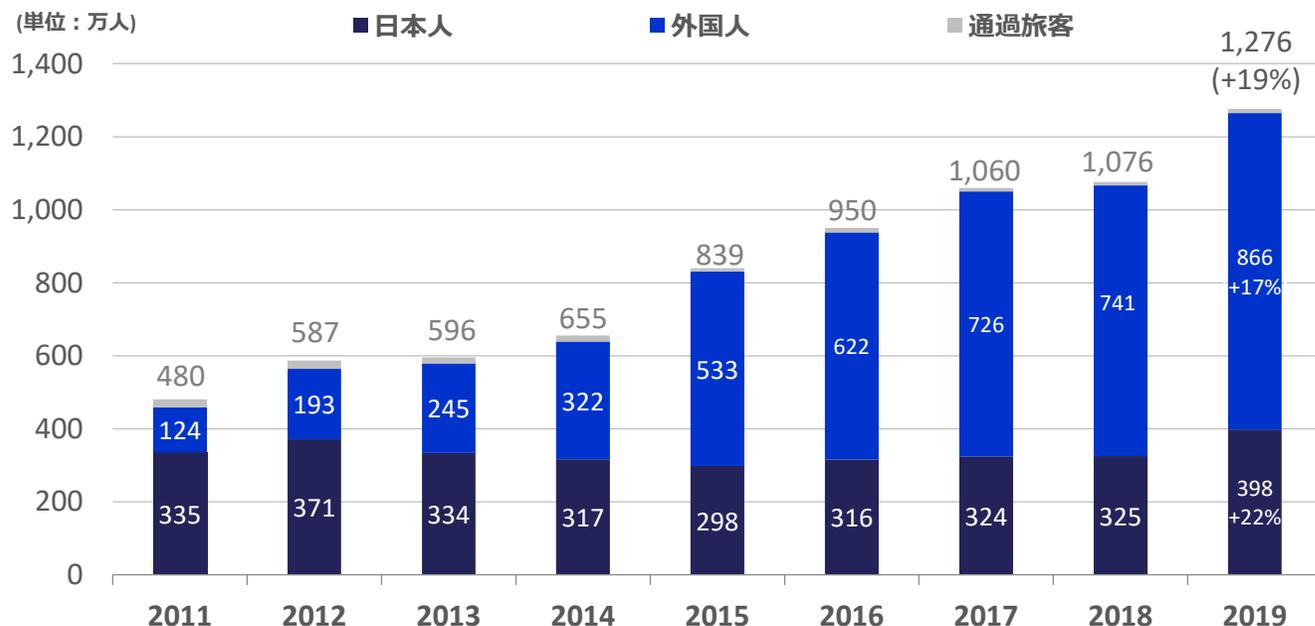
- ✈ 昨年の台風21号からの反動増もあり、3空港合計の2019年度上期旅客数は前年を11%上回る2,644万人を記録した
- ✈ KIX国際線は韓国、香港路線の需要の落ち込みはあるものの、中国をはじめとする他の路線の好調により、前年を19%上回る
- ✈ KIX国内線は新規就航・増便や台風からの反動増で、前年を14%上回る
- ✈ ITAMI国内線は機材大型化等の効果で、前年を2%上回る
- ✈ KOBE国内線は8月からの規制緩和に伴う増便により、前年を6%上回る

国際線(KIX) 日本人/外国人旅客実績 (4-9月)

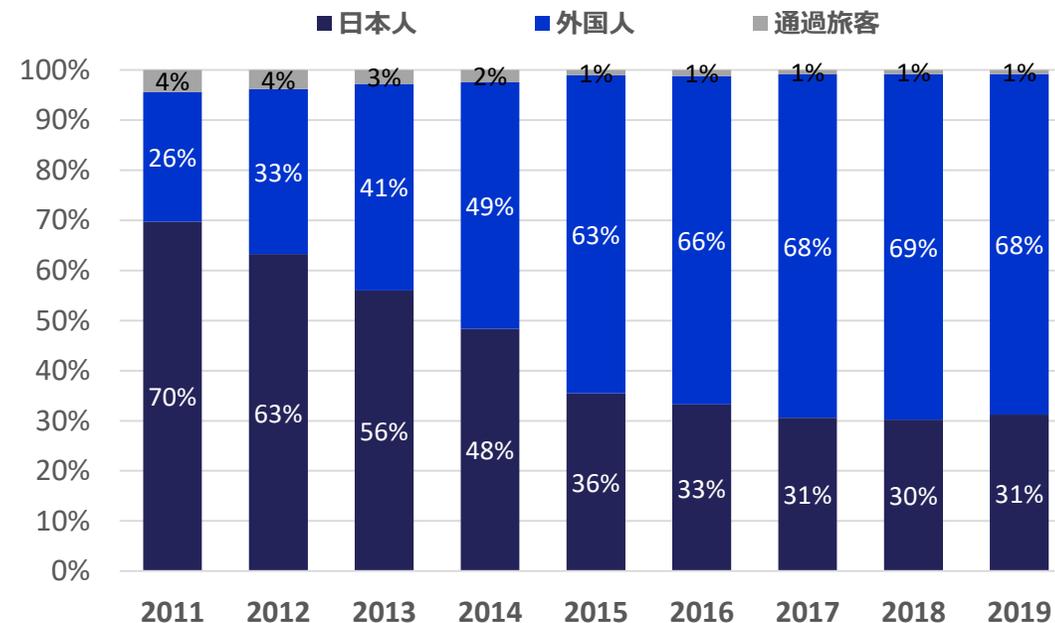
日本人/外国人共に前年を上回り好調

- ✦ インバウンド（外国人）は年度上期で初めて800万人を突破、前年を17%上回る866万人を記録。
- ✦ アウトバウンド（日本人）前年を22%上回る398万人と大幅に増加。

国際線 日本人/外国人/通過旅客数 2019年度上期 累計推移



国際線 日本人/外国人/通過旅客 割合

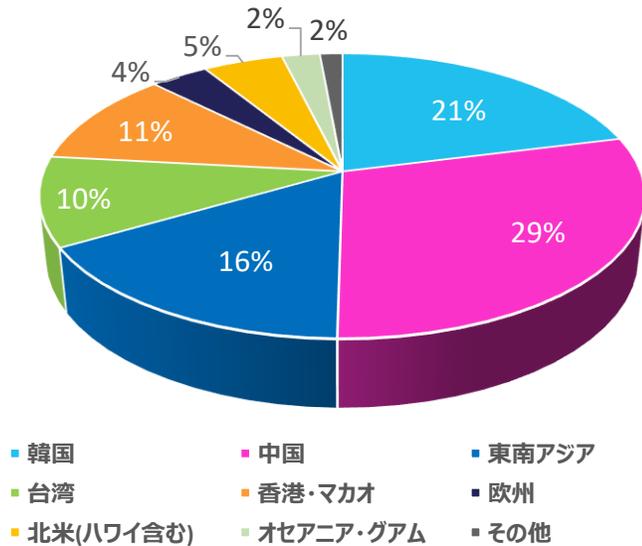


国際線旅客数(KIX) 方面別実績 (4-9月)

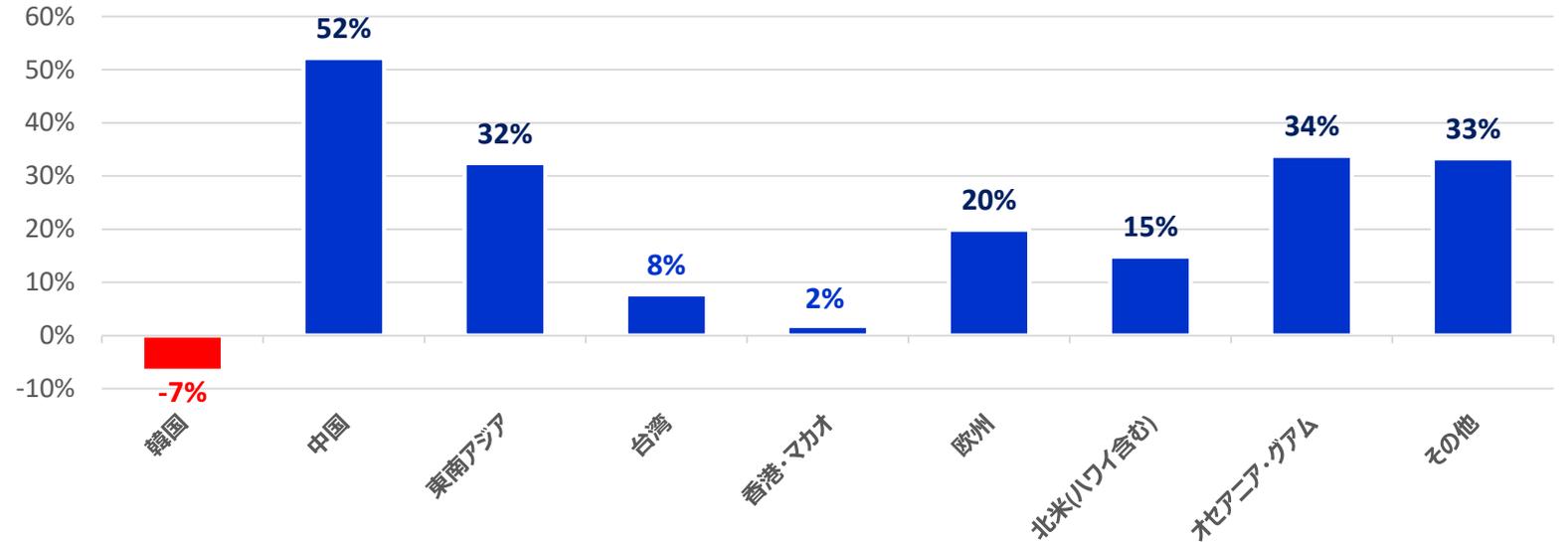
中国、東南アジア方面が好調

- ✦ 景気減速や外交問題による韓国路線の落ち込みはあるものの、中国、東南アジア方面を中心に、訪日外国人需要が旺盛。中国は前年を52%上回り、東南アジアは前年を32%上回る
- ✦ 欧州、ハワイ、オセアニア・グアムの長距離路線も押し並べて好調

国際線 方面別内訳



国際線旅客 方面別伸び率 (前年同期比)



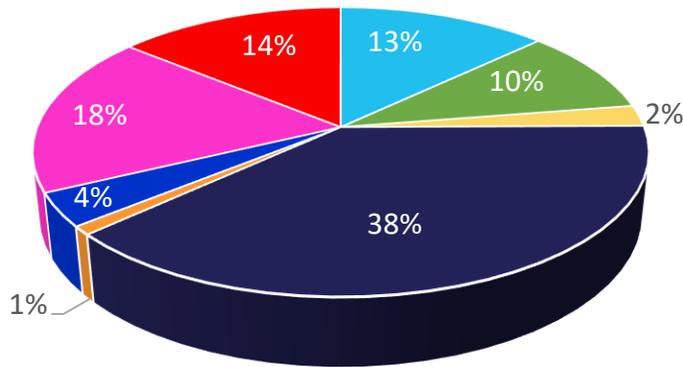
※その他はインド・ネパール・中東・極東アジアを指す

3空港 国内線方面別実績（4-9月）

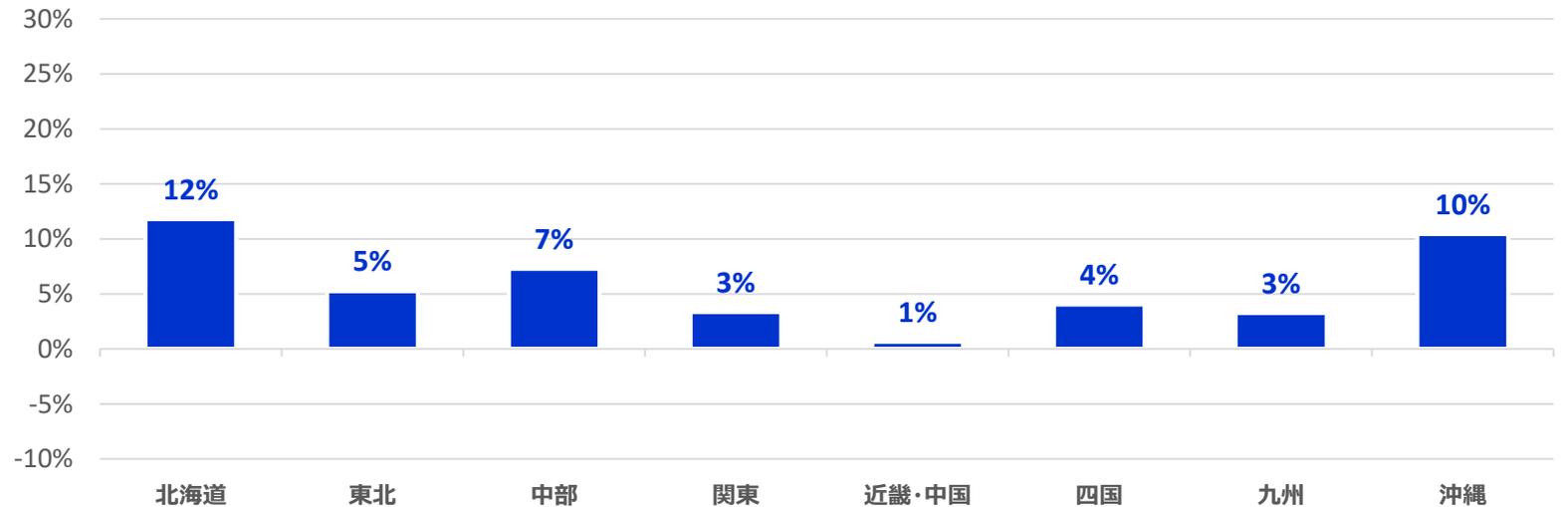
3空港合計で前年を6%上回る1,368万人を記録

- ✦ 昨年の自然災害からの反動増もあり、全体として好調に推移
- ✦ 夏のレジャー需要や7月からのKIXにおけるジェットスター下地島線の就航や、8月からのKOBEにおけるスカイマーク那覇線の増便などにより、沖縄方面が好調

国内線旅客数 方面別内訳

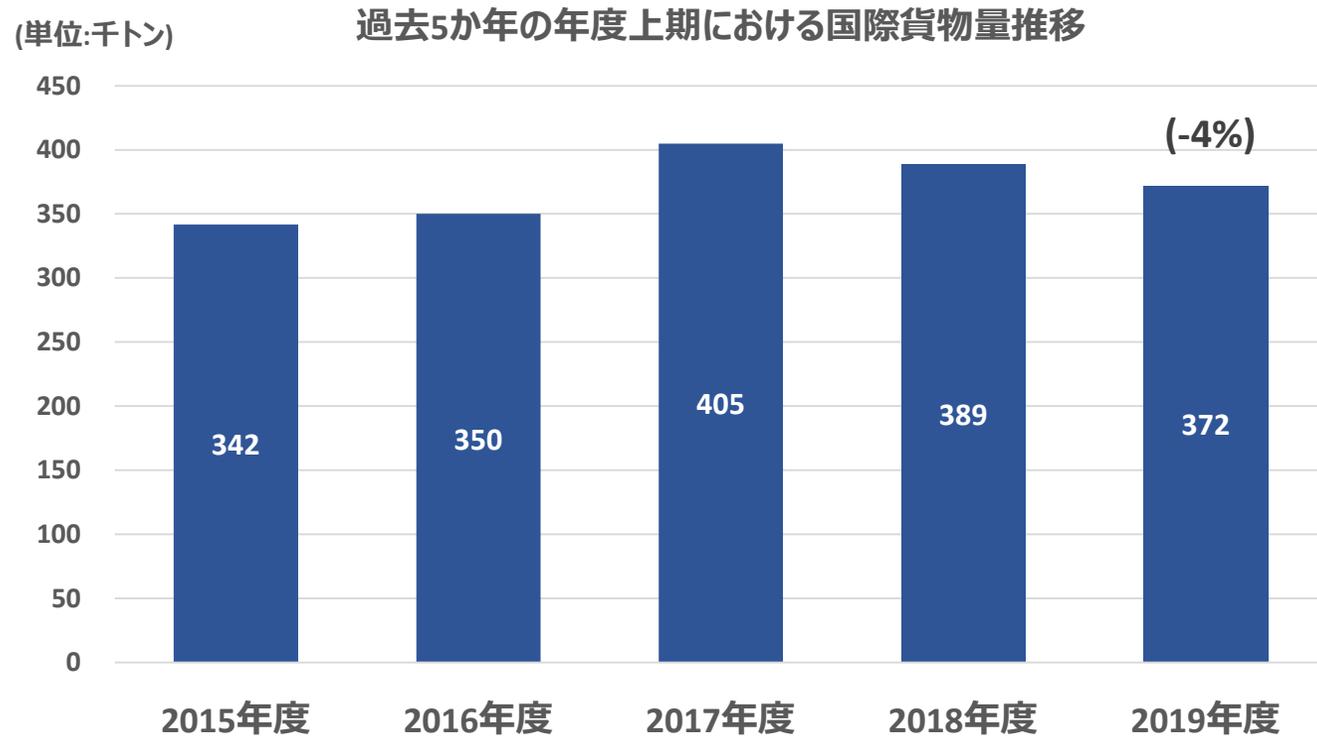


国内線旅客数 方面別伸び率（前年同期比）



KIX国際貨物取扱量実績（4-9月）

KIXの国際貨物取扱量は37万トン、前年を4%下回る

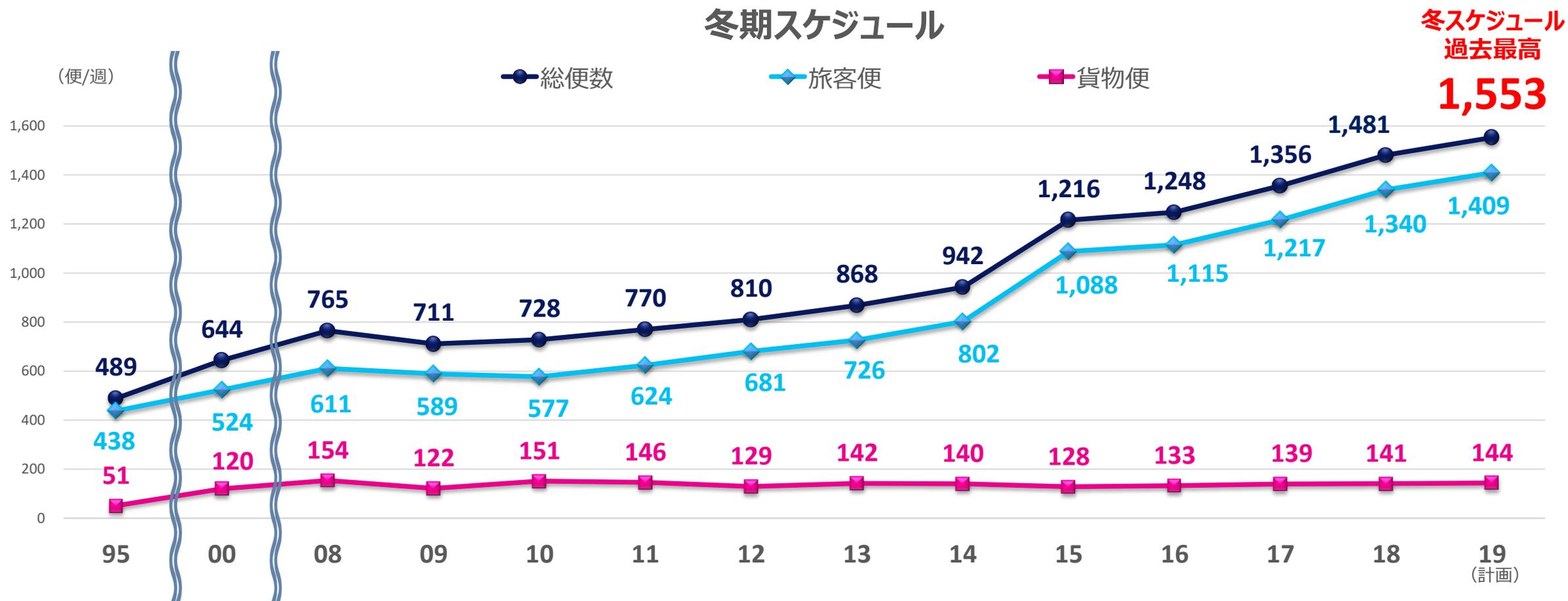


✈ 2019年度上期の貨物取扱量は、米中貿易摩擦や世界経済の低迷の影響を受け、前年を4%下回った



2019年冬期スケジュールについて

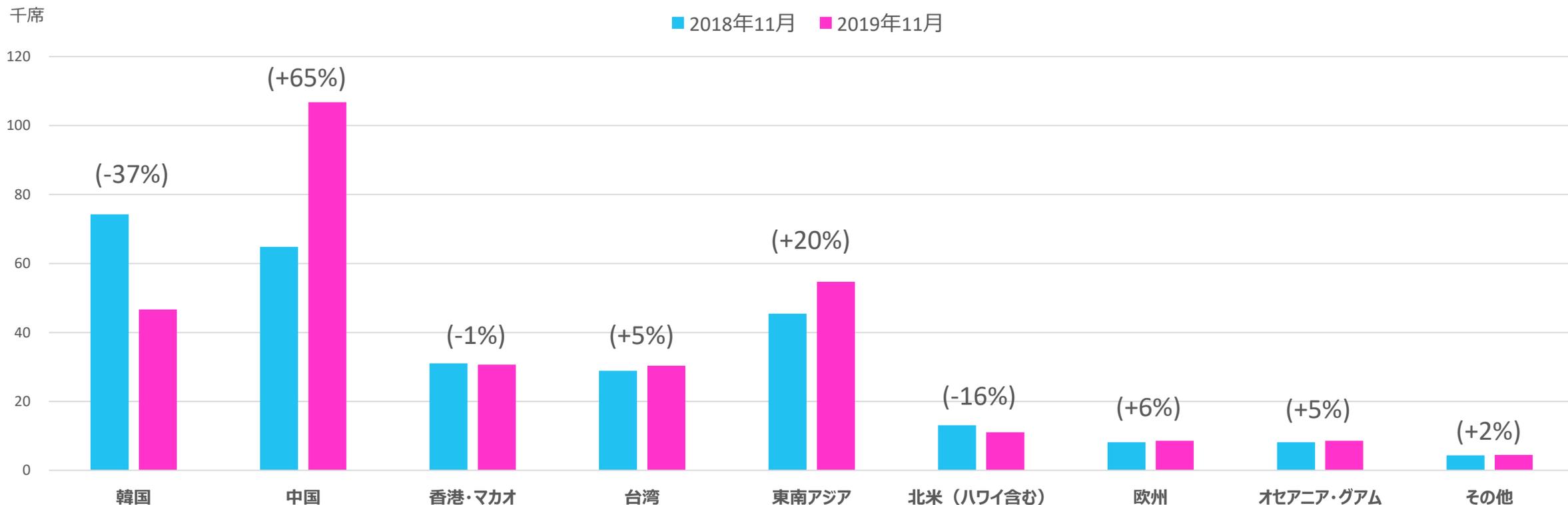
関西国際空港における 2019年冬期スケジュール国際定期便 就航便数



冬スケジュール 国際旅客便 方面別 提供座席数

提供座席数の合計は2018年と比較して、9%成長の見込み

方面別提供座席数 (11月, 週あたり平均値)

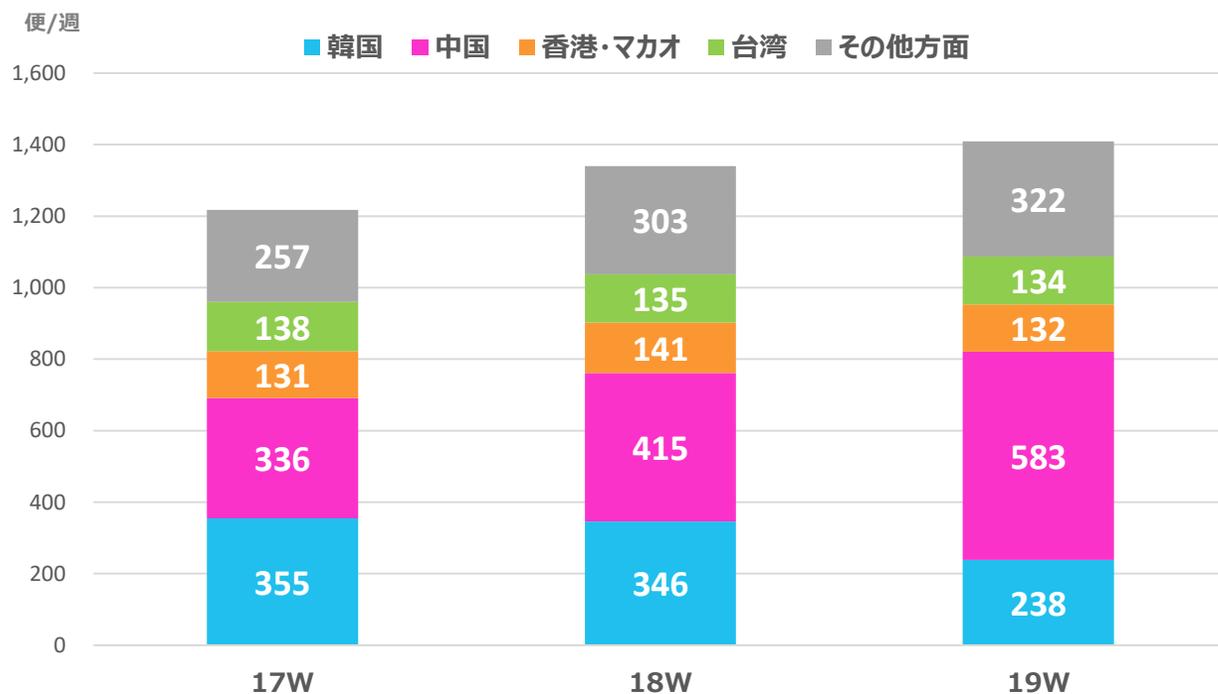


※1 () 内は前年比 ※2 その他はインド・ネパール・中東・極東アジアを指す

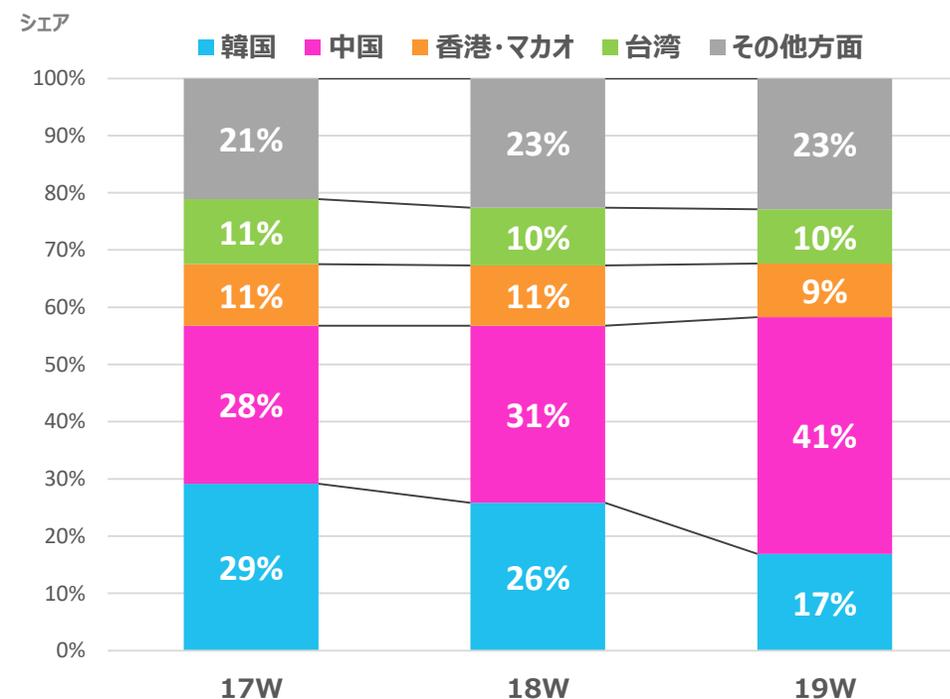
方面別便数とシェアの推移

韓国方面の便数は減少となるが、中国方面の大幅な増便により全体便数としては昨年同期から+5%増加し、中国便のシェアは41%に急拡大

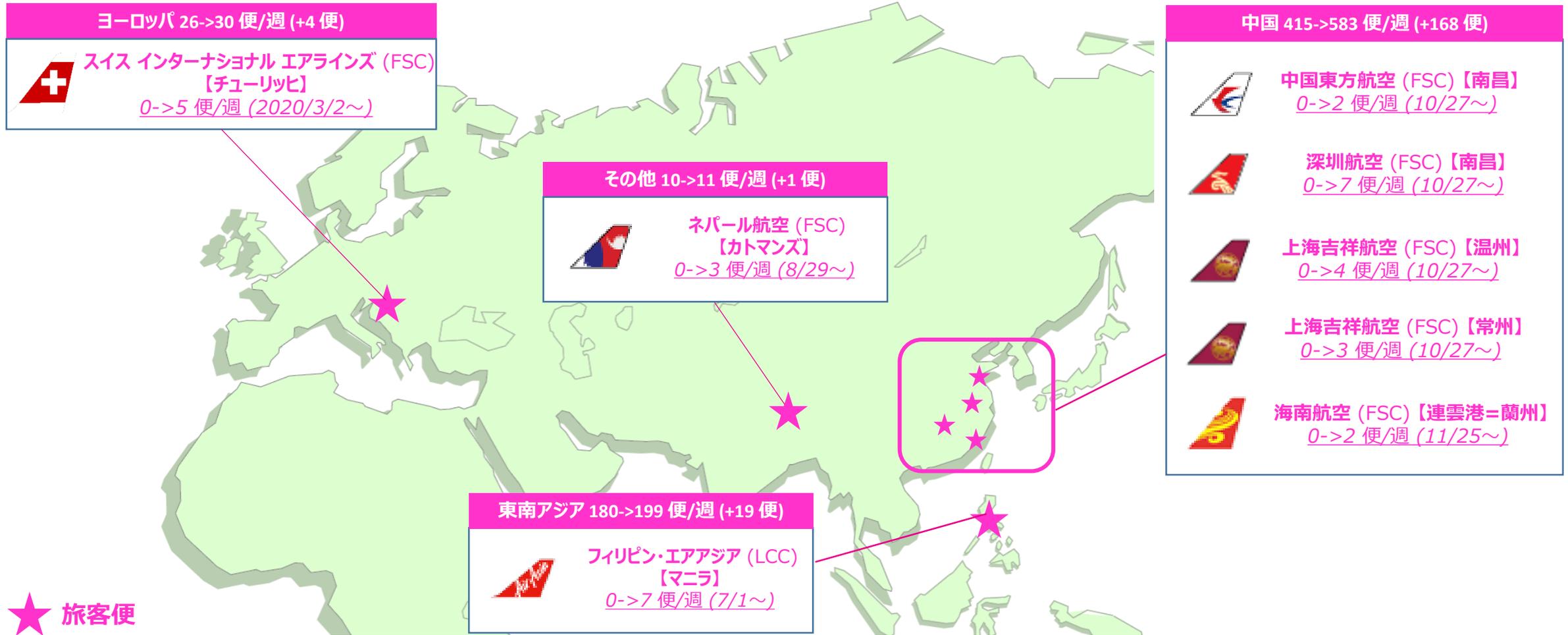
方面別便数の推移



方面別便数シェア

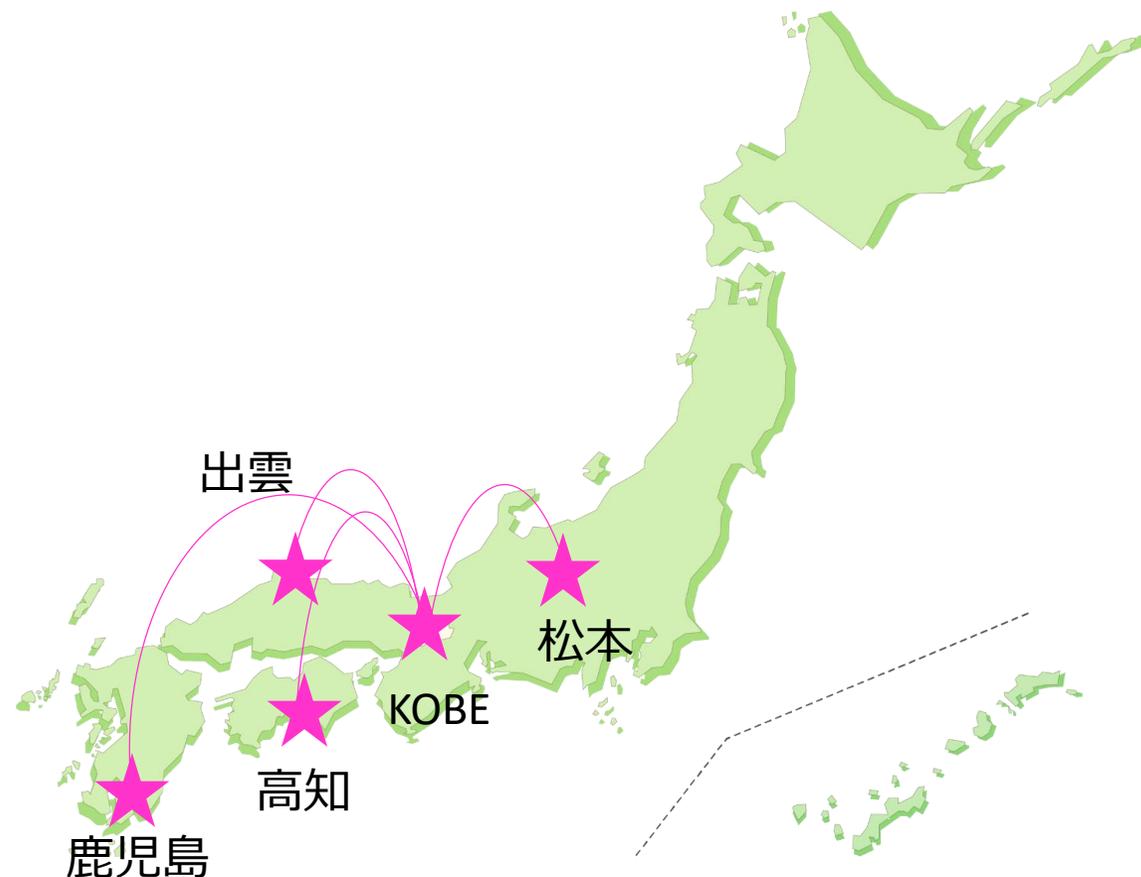


国際定期便 ネットワーク拡大



国内定期便 ネットワーク拡大

	KOBE = 出雲 新規就航 : 0->7 便/週 (10/27~) 増便 : 7->14 便/週 (10/27~12/19)
	KOBE = 松本 新規就航 : 0->7 便/週 (10/27~)
	KOBE = 高知 新規就航 : 0->14 便/週 (12/20~)
	KOBE = 鹿児島 増便 : 14->21 便/週 (10/27~)



長距離便の拡大

長距離国際線の新規就航により、ネットワークは継続的に拡充

📍 2017年 夏・冬 ✈️ 📍 2018年 夏・冬 ✈️ 📍 2019年 夏・冬 ✈️ 📍 2020年 夏・冬 ✈️



AirAsia X
ホノルル 就航



カンタス航空
シドニー 就航



エミレーツ航空
A380 就航



ブリティッシュ・エアウェイズ
ロンドン 就航



デルタ航空
シアトル 就航



スイス インターナショナル エアラインズ
チューリッヒ 就航



カタール航空
ドーハ 就航



ターキッシュエアラインズ
イスタンブール 就航



質疑応答